

南、松井、菅原、

松浦、保井、二上、

眞野、大島、小幡、

伊澤、北甲、平生、

芳澤、

各顧問官宛

昭和二十年九月八日執行

昭和二十年九月八日執行

九月八日執行

書記官

議長 益

副議長 石

書記官長

案

衆議院議員選舉法第十三條特例三項又ル件

區 審 院

皇室御用
官制
第百一十号
勅令
第一九七号

右来ル十二日(水曜日)午前十一時會議被相開候間
御出席相成度議長、命依リ此段及御通知候也

昭和二十年九月八日

樞密院書記官

議長

副議長

親王

各大臣

顧問官

宛各通

又

一衆議院議員選舉法第十三條特例關スル件

各取未附

右及御配付候也

昭和二十年九月八日

樞密院書記官

親王

國務大臣

顧問官（委員ヲ除ク）

宛各通

参照

大日本帝國憲法

第八條 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ

災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會

閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルヘキ勅令ヲ發

ス

此ノ勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出

スヘシ若議會ニ於テ承諾セサルトキハ政府

ハ將來ニ向テ其ノ効力ヲ失フコトヲ公布ス

ヘシ

樞密院

一衆議院議員選舉法第十三條特例ニ關スル件
右及御配付候也
參照米附

昭和二十年九月八日

樞密院書記官

親王

各
國務大臣

顧問官（委員ヲ除ク）

宛各通

又

一衆議院議員選舉法第十三條ノ特例ニ關スル件

樞密院

右來ル十二日(水曜日)午前^{後二}十時會議被相開候ニ付
説明員ヲ出席セシメラルルニ於テハ成ルヘク其人
數ヲ少クシ其ノ官職氏名折返シ御通知相成度依命
此段及照會候也

昭和二十年九月八日

樞密院書記官

内閣書記官

御中

昭和二十年九月八日

書記官

書記官長

案

一衆議院議員選舉法第十三條特例ニ關スル件
右審査委員會來ル十二日(水曜日)午前十
時^{樞密院書記官}於テ被相開候間御出席相成
度委員長ノ命ニ依リ此段及御通知候也

昭和二十年九月八日

連而議案(案照添附)並御配會候

衆議院書記官

樞密院

議長

清水委員長

南、潮、林

三上、泉、櫻内

委員

宛各通

又

衆議院議員選舉法第十三條特例ニ關スル件

樞密院

右審査委員會未ル十二日(水曜日)午前
十時ヨリ内閣府内本院事務所ニ於テ
被相開候ニ付關係大臣出席セラル候様御取計
相成度依命此段及照會候也
追テ說明員ヲ出席セシメラルルニ於テハ成ルハク
其ノ人数ヲ少クシ其ノ官職氏名折返シ御通知
相成度候

昭和二十年九月八日

樞密院書記官

内閣書記官 御中

昭和二十年九月八日 決議 九月八日執行

書記官

議長 副議長

書記官長

案

一衆議院議員選舉法第十二條特例ニ關スル件
右件ニ付左記ノ通審査委員指定セラレ候
議長ノ命ニ依リ此段及御通知候也

審査委員長

審査委員

清水副議長

南 顧問官

湖 顧問官

林 顧問官

三土 顧問官

泉二 顧問官

櫻内 顧問官

昭和二十年九月八日

樞密院書記官

議長

副議長

親王

各大臣

顧問官

宛各通

昭和二十年九月八日

書記官

書記官長

電報案ノ一

衆議院議員選舉法第十三條ノ特例ニ關スル件ニ
付九月十二日午前十時官内省ニ於テ審査委員
會開カレ

根拠法律事務所

樞密院書記官

南

泉二

顧問官宛各通

電報案ノ二

選舉法ノ特例ニ關スル件ニ付九月十二日午後
二時宮内省ニ於テ本會議開カレ議案八當
日控室ニテ御渡シス

樞密院書記官

松井、菅原、松浦、三上

眞野、小幡、伊澤、池田

平生、百武、吉澤、廣田官宛各通

昭和二十年九月十八日 決議

九月十八日 執行

書記官

議長 佐
副議長 木

書記官長 屋

案

一、ポツダム宣言ノ受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件

樞密院